

# 自民都議が生活保護バッシング

八王子市選挙区の自民党東京都議が、生活保護に関する偏った情報を記載したポスターを同市内に掲示しています。生活保護への誤解を与え、受給者に対するバッシングなどの批判の声が上がっています。

## 八王子

「正直者が『バカ』を見ない。生活保護費1世帯500万円超/1年間なんてふざけてる!」(26年 八王子実態)――。

自民党の近藤みつる都議の名前・写真とともに、こう明記した大きなポスターが、同市大栗寺町にある陣馬街道の道路沿いに目立つように二つ設置されています。

同市社会保障推進協議会副会長の佐野英司さんは、「ポスターの内容は、生活保護受給者に対して後ろめたさや、罪悪感を与える」と話します。

佐野さんが近藤都議に500万円の根拠を質問したところ、「ポスター

(井上拓大)

の内容は事実であり、市役所に確認したので間違いない」と回答したとい

います。佐野さんは、同市役所の生活福祉課に、近藤都議とのやりとりを確認し

## 実態ゆがめた偏向ポスター



疑問の声が出た近藤都議のポスター(陣馬街道の道路沿いで撮影) 11月2日、東京都八王子市

ました。現在の担当者によると、近藤都議の質問は「八王子市で一番高い生活保護の額はいくらだ」というものでした。当時の担当者が「全て調べていないが、500万円を超える家庭がある」と答えると、近藤都議は電話をすぐに切ったとい

います。年500万円以上の受給者は、同市内に10世帯未満(2014年度)。

同市の生活保護受給世帯と人数は、東京都福祉保健局の14年度福祉行政統計年報によると、8021世帯、1万1116人、1世帯平均1.39人です。保護費の決算額は、同市の15年度健康福祉の概要によると、19億9119万9千円。1世帯平均の保護費は247万9890円となり

ます。佐野さんは、「一般市民に生活保護について誤解を与えかねない」として、役所に対し、ポスターの内容を変更するように近藤都議側に伝えてほしいと訴えました。担当者は「公正中立の決まりもあり、事実と違うという認識はあるが、何もできない」と答えました。

日本共産党八王子市議団のやまこし拓児市議は、生活保護制度は、憲法25条で定められた生存権を保障する制度で、必要と感ずるすべての人が、安心して受けられるものでなければいけないと話しました。同ポスターのように、生活保護制度を「いけないもの」のように思わせることは、制度に対する正しい理解をゆがめ、保護を必要としている人たちを萎縮させることにつながると指摘します。

近藤都議は、ポスターの記載内容の根拠について問い合わせた本紙の質問に対して、18日までに回答しませんでした。